

地理学科地域環境研究専攻 2019年度カリキュラム 卒業必要単位:124

教育研究上の目的ならびに学位取得の方法
 地理学科は、地域文化研究専攻と地域環境研究専攻の二つの専攻を置き、地域の文化や環境の本質についてフィールドワークなどを通して理解し、人間と自然の関係について考え行動できる力を身につけ、広く社会に貢献できる人材の育成を教育の理念とする。
 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)
 地理学科および地理学部に設置されている二つの専攻(地域文化研究専攻・地域環境研究専攻)は、地域の文化や環境の本質について、フィールドワークを通して理解できる人材を育成する。この学習成果をもって、卒業後、交通・旅行業界、地図製作・測量業界、不動産関連業界、行政・教員、学術・研究などの分野において、実務の現場で活躍できる人材を輩出することを目標とする。具体的には、「学士(地理学)」を授与される学生は、以下のような能力を有する。
 (DP1)本学の建学の理念を理解した上で、人間と自然の関係について考え、主体的に行動できる力を身につけていること。
 (DP2)地理学的な調査・研究・発表に必要な倫理観を備えていること。
 (DP3)フィールドワーク、観測、測量、統計分析、GISなど、地域の文化や環境の調査に必要な知識と分析能力を身につけていること。
 (DP4)臨機応変に地域を対象とした調査を行い、その結果に関する正確な文章表現ができること。
 (DP5)専門知識を活かして、地域の課題を解決する実践力を修得していること。

教育課程の編成方針
 地理学科では、ディプロマ・ポリシーに示した目標を達成するために、以下の専門教育課程を編成して実施する。
 1. 教育内容
 (1) 1年次は、地理学の対象と領域、見方・考え方について理解する。加えて、地図や地域統計を利用した基礎的な分析スキルを修得する。
 (2) 2年次は、地理学の学問的な基となる地図について学ぶ。また、地域文化や地域環境に関する専門的な知識と技術を学ぶ。
 (3) 3年次は、地理学の根幹であるフィールドワークを重視した野外調査実習を軸として発展的な学習を進める。また、測量やGISなど社会で有用なICT教育を含む高度な技術を身につける。
 (4) 4年次は、卒業論文の作成・執筆をとおして、高度な技術力と地域の課題を解決するための深い洞察力を持った専門知識人の育成を目指す。
 (5) グローバル化する社会に対応するために、海外での学習や体験を奨励し、積極的に支援する。
 2. 教育方法
 (1) 1年次は、必修科目である「人文／自然地理学入門」と「人文／自然地理学実習」を配置し、導入教育を行う。加えて、基本的なICT教育も行う。
 (2) 2年次は、必修科目の「地図学」、および地域文化や地域環境に関する専門選択必修科目の講義および実習を広く配置する。また、実際に地域調査を体験するための「地域調査入門」も配置する。これらにより、専門的な知識と技術を修得することができる。
 (3) 3年次は、地域文化・地域環境研究専攻それぞれに「地域文化調査法／演習」「地域環境調査法／演習」を選択必修科目として配置し、実際の調査・研究をとおしてそれぞれの専門分野における知識および調査スキルなどをアクティブ・ラーニング形式で学ぶ。また、実習系専門科目を配置し、測量やGISなどに関する高度な技術を学ぶ。
 (4) 4年次は、必修科目として「地理学演習」を配置し、卒業論文執筆のための指導を行うとともに、地域の課題を解決するための能力の向上を図る。
 (5) 専門科目に海外研究を配置し、海外体験から学んだことを専門的な観点からレポートにまとめることにより単位として認定する。
 6) 各年次において必修科目の単位が取得できない学生に対して個別に学修指導を行う。
 3. 評価
 地理学科では、駒澤大学全体の評価方針に基づき、以下の表に示すレベルと視点から学修成果の評価・測定を行う。

入学希望者へのメッセージ
 地理学科では、自然環境や人間が密に結びついた文化現象など、地域と人間の関わりについて深い関心を持ち、空間的な思考を得意とする学生を求めている。具体的な人物像は、以下のとおりである。
 1. 地理学科が求める学生像
 (AP1)受験科目に特化した勉強ではなく、高等学校の教育科目を広く履修し、本学地理学科での学習に必要な基礎学力を有していること。高等学校における「地理」は必ずしも必要ないが、受講していることが望ましい。
 (AP2)入学後学んだ地理学の専門知識や技術を、積極的に社会に還元しようとする意欲と目的意識を持っていること。
 (AP3)自然環境や人間が密に結びついた文化現象など、地域と人間の関わりについて深い関心を持ち、それをわかりやすく他人に説明することができること。
 (AP4)現地調査に耐えられる健康的な身体と精神を持ち、自分と異なる考えを持つ他人とともに調査・研究を協働して行うことができること。
 以上の観点に基づき、多面的・総合的な評価により入学希望者を募集している。

分野	1年次前期		DP(1～5)		1年次後期		DP(1～5)		2年次前期		DP(1～5)		2年次後期		DP(1～5)		3年次前期		DP(1～5)		3年次後期		DP(1～5)		4年次前期		DP(1～5)		4年次後期		DP(1～5)																																	
	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数																																		
専門必修科目(24)																																																																
専門必修科目(16)																																																																
専門演習・卒業論文(16)																																																																
専門基礎(14)																																																																
保健体育科目(2)																																																																
外国語教育(10)																																																																
教養教育(人文・社会・自然・ライフデザイン)(12)																																																																
系属教育(4)																																																																
卒業必要単位数	40～44単位																36～44単位																24～36単位																24～32単位															
履修モデル単位数	60単位																80単位																60単位																48単位															